

# 磐田市 磐田市の未来のために 自治会連合会だより

## 社会環境の変化に対応する自治会運営



磐田市自治会連合会長

村上 勇夫

Isao Murakami

1940年長野県長野市出身  
1963年河合楽器製作所入社  
2000年同社定年退職  
在職中は、名古屋、東京、松本、金沢、群馬、埼玉等で汗を流した転勤族。  
定年退職後は、地域安全推進委員、少年補導員を経験しながら、自治会活動に関する知識を習得し、2004年(旧豊田町)森下自治会長に就任。  
くらしの防犯伝導士、ふじのくに災害ボランティアコーディネーター、乙種防火管理者等の資格取得や経験が、現在の自治会活動に役立っている。  
健康を保つ秘訣は「毎日規則正しく生活すること」。  
夢は、磐田市が子ども達の笑顔で溢れること。

### 地域改革について

社会環境は、私たちが想像する以上に急変しています。人口減少、高齢化社会、恵まれた環境に慣れ、地域コミュニティの必要性を忘れかけている住民の増加等により、自治会を取り巻く環境は大きく変わってきています。

地域コミュニティの中心である自治会を次世代に引継ぐには、思い切った改革が必要と感じています。その年の役員に任せ、時代に合わない慣習を踏襲している地域は衰退する危機に直面しています。今こそ地域力を高める時代が来ています。

地域住民のポジティブな考えと行動力が、地域力の向上に必要です。時代に合わない慣習を変えるには、大きなエネルギーと決断が必要です。自治会長の大半が1年で交替する単位自治会だけに地域改革を任せるのではなく、地域づくり協議会が関わって検討することも必要だと考えています。

### 地域の活性化について

自治会にはなるべく関わらないという考えの方がいると聞きますが、そういった方にこそ、ぜひ地域改革に参加していただきたいと思っています。

特定の人頼りではなく、自分が少しでも関わることで地域改革に繋がり、安全・安心、住んで良かったと思える地域づくりが可能になります。多くの人が関わることで、自治会長や役員の負担が軽減され、地域活動が活性化すると考えています。

### 自治会の役割について

最近、全国的に自治会加入の是非が話題になっています。災害被災地では地域コミュニティの必要性が再確認され、様々な対策が講じられています。

反面、首都圏や一部地方自治体では自治会加入者の減少も注目されています。地域コミュニティの中心である自

治会の役割は地域生活の広範囲にわたります。人間は支え合うことで進化した動物であり、支え合う環境の中で生活が成り立っています。

ごみ集積や防犯灯の管理は自治会の役割の一部に過ぎません。災害発生時の救援と互助、防犯体制の確立、地域行事の企画・運営・参加、多様な福祉活動、地域全体が顔見知りになることによる関係の良化など、自治会が担う役割は多岐にわたります。

住民のみなさんには、可能な範囲で自治会活動に関わり、地域を盛り上げていただきたいと考えています。子ども達に誇れる地域をつくり、安心して生活できる未来を引き継げることを願っています。



磐田市イメージキャラクター

ひっぺい ©磐田市

磐田市自治会連合会  
facebook

様々な情報をお伝えします！  
いいね！よろしく  
お願いします。



# 各地域の取りまとめ役

## 磐田支部

今年度の磐田地区は、一言南原自治会が加わり、143自治会となりました。また、新しい自治会長は98名います。

地域づくり協議会も新たな年度を迎え、活動が盛んになってきています。少子高齢社会が進み、新たな課題が生じている今こそ、地域みんなで力を合わせ、地域の課題を解決するときです。

自治会活動を進める上で、様々な課題と直面すると思いますが、すべては未来の地域のため、子どもや孫の世代のためと思えば、力を合わせがんばりましょう！



水野 勲

磐田支部長



古山 晴海

長野地区長



星野 勝彦

中泉地区長



林 浩巳

見付地区長



鈴木 義親

於保地区長



玉田 文江

天竜地区長



樋口 榮造

今之浦地区長



新貝 雅海

御厨地区長



青島 浄

岩田地区長



鈴木 通

田原地区長



藤原 孝一

南御厨地区長



中村 和良

西貝地区長



三浦 靖男

向笠地区長



田中 好二

大藤地区長

## 豊田支部



島岡 信生

豊田支部長

豊田地区は小中一校や市民文化会館等の構想が進み、「ひと・ほんの庭にこっと」は8月に完成が予定される等、期待と希望で一杯です。しかし、今後の地域の将来を覗くと喜んでばかりではいられません。少子高齢化により、労働者減少・貧困・医療費問題等の課題に直面しています。それらの課題に対して、健康寿命を延ばすこと、被災しても一人の死者も出さない強い地域をどう構築するかだと考えています。地域のみならずと協力し、今後も『まちづくり』に邁進していきます。



鈴木 猛

富岡地区長



菊地 武光

豊田東地区長



廣幡 喜代輔

井通地区長



大澤 房男

青城地区長



兼子 孝宏

池田地区長

## 福田支部

福田支部長



杉浦 聖

福田地区では、地域づくり協議会の発足当初から、地域づくり協議会活動と地区の様々な活動の一体化を進めてきました。活動の一体化に合わせて会計の一本化も行い、徐々にではありますが、地域づくり協議会が地域のみなさんに理解されてきています。そして、さらに多くのみなさんに、自治会と地域づくり協議会の活動を分かりやすく説明していくことが必要だと感じています。

そのために、自治会連合会の舵取りが極めて重要と考えています。自治会連合会と単位自治会が一層連携を深め、課題に取り組んでいきたいと思っています。

豊浜地区長



伊藤 富次夫

西部地区長



守屋 文雄

福田南地区長



星野 秀次郎

福田中地区長



山田 正美

北部地区長



山田 孝行

## 竜洋支部

竜洋支部長



藤田 充

西地区長



吉野 博行

東地区長



高橋 英博

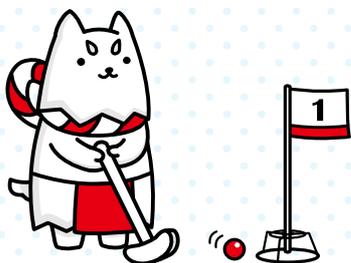
北地区長



岡本 伸夫

自治会活動の主役は地域のみなさんです。少子高齢化、人口減少の時代になり、自助・共助・公助がとも重要になっています。

地域の住民同士で情報の共有化を図り、今まで以上に地域で支え合うまちづくりが必要です。その中で、自治会が大きな役目を担っています。私自身は、人材の確保・育成を行い、安全で活力のある住みよいまちをつくるため、「利他」の心で行政とのパイプ役に務め、自治会活動を実践していきたいと思っています。



## 豊岡支部

豊岡支部長



深田 研典

北地区長



原田 孝

南地区長



石川 好三

東地区長



山下 恭史

地域において少子高齢化が進む中で、これからの地域づくりには、まずは住民同士の支え合いや絆が大切になっていきます。そして、「自分たちの地域は自分たちで守り、育てる」と言う地域の一体感、地域力が問われてきています。

豊岡支部は、地域づくりの要となる二つの地域づくり協議会との連携を保ち、地域の特性を活かしながら、豊岡地区3地区のバランスのとれた安全・安心な地域づくりに一体となって取り組んでいきます。

地域のみなさん、共に力を合わせてがんばりましょう！



# 平成30年度総会報告

## 平成29年度事業報告・収支決算

4月21日(土)にアミューズ豊田で総会を開催しました。平成29年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、平成30年度の事業計画・予算等はすべて承認されました。  
また、永きにわたり自治会活動に積極的に取り組まれた方々へ表彰状授与を行いました。



びいも

### 平成29年度収支決算(磐田市自治会連合会)

支出		収入	
費目	決算額(円)	費目	決算額(円)
会議費	540,106	会費	1,700,000
事務費	2,717,642	交付金	7,728,200
支部助成費	1,344,000	負担金	618,000
視察研修費	949,612	前年度繰越金	823,197
事業活動費	4,021,281	雑収入	370,644
負担金	196,500	合計	11,240,041
予備費	0		
合計	9,769,141		

差引残額 1,470,900円は翌年度に繰り越す。



▲自治会連合会長から功労者へ表彰状と記念品が贈られました

## 平成30年度事業計画・収支予算

次の5つの基本方針に沿って、4つの事業に取り組みます。

- ①安全安心の住み良いまちづくりの取り組みを推進する
- ②次世代に自信を持って引き継げる単位自治会の強化を図る
- ③交流センターを核とした地域づくり協議会を定着させ、地域住民主体のまちづくりを推進する
- ④防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成に関する施策を展開する
- ⑤行政・関係機関・団体との連携を図り地域力の向上を目指す

### 地域力向上への取り組み事業

自治会連合会だよりの発行、ホームページ・SNSによる情報発信、市長と市政について語る会の開催など

### 防災、減災に向けた取り組み事業

家庭防災の日による自助の推進、災害を想定した訓練実施の推進、消防署や消防団等と連携した取り組みなど

### 防犯への取り組み事業

青色回転灯装備車など防犯パトロールの実施、振り込め詐欺被害撲滅に向けた取り組みなど

### 交通安全への取り組み事業

ピカッと作戦(早めのライト点灯と自発光式反射材の着用)の推進、子ども・高齢者の交通事故防止に向けた取り組みなど

### 平成30年度収支予算(磐田市自治会連合会)

支出		収入	
費目	予算額(円)	費目	予算額(円)
会議費	900,000	会費	1,700,000
事務費	3,436,000	交付金	8,409,000
支部助成費	0	負担金	3,396,000
視察研修費	1,050,000	前年度繰越金	1,470,900
事業活動費	4,727,000	雑収入	100
支部研修費	4,323,000	合計	14,976,000
負担金	440,000		
予備費	100,000		
合計	14,976,000		

各支部会計を連合会会計へ一本化したため、支部助成費が減額となり、支部研修費が新たな項目として追加されました。

## みんなてつくりよう 安心のまち

犯罪の認知件数は減少しているにも関わらず「治安が悪くなった」と感じる人の半数以上が、その原因として「地域社会の連携意識が希薄となったから」という理由を挙げています。地域の犯罪を防止する力が低下すると、自分自身が犯罪の被害にあらう恐れが高まります。

安全で安心して暮していくためには、警察の活動に頼るだけでなく、そこに暮らす人たちが一体となり、自分たちの地域の安全を守るための活動をしていくことが重要です。

### 防犯に係る主な活動

- 地域の防犯パトロール(徒歩、青パトによる見回りなど)
- 地域の環境浄化活動(落書き消し、清掃など)
- 防犯広報活動(防犯教室、街頭などでの防犯キャンペーン活動など)
- 子どもの安全を守るための登下校時などの見守り活動

### 磐市内犯罪発生件数(平成29年1月~12月)

凶悪犯	粗暴犯	侵入盗	乗物盗	非侵入	知能犯	風俗犯	その他	計
3	78	98	162	430	40	9	160	980

平成30年7月15日発行  
発行: 磐田市自治会連合会  
編集: 磐田市自治会連合会  
総務部会

連絡先  
磐田市自治会連合会事務局  
(地域づくり応援課)  
TEL (0538) 37-4811  
<http://www.iwatashi-jichikai.jp>